



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

新聞部  
彦根市金亀町4番7号

# 思い出はいつの時も... 雨

民宿最終日は別れを惜しむかのような雨だった。離村式の後、宮古島から那覇に移動し、国際通りへ。夜は南西観光ホテルで疲れを癒した。

目を覚ますと聞こえるのは雨の音。

お世話になった民家の方へ別れを告げ、宮古空港から那覇空港へと旅立つ。到着後、沖縄唯一のモノレールに乗って県庁前駅へ移動する。そこからは別れの自主研修が始まる。雨が激しく降るので土産屋で雨宿りをしながら歩いていった。晩ご飯は班別に好きなものを食べた。南西観光ホテルに到着してからは生徒たちは疲れた体をゆっくり休めた。

(B団・空)

## 涙、別れの離村式

今日するはずの予定が雨で流れた代わりに、民家の方は宮古島のドライトレールに連れて行ってくれた。どこへ行っても宮古島にいたいと名残惜しかった。離村式は予定より30分ほど早い11時30分頃から行われた。先生や生徒代表の挨拶の後、宮古島では3日間一緒に過ごしたホームステイ先のお父さん、お母さんと別れの時を過ごした。飛行機の前が迫っていたが記念に写真を撮影して帰る生徒がたくさんいた。思わず泣いてしまう生徒の姿も見られた。2泊3日と短い時間だったが、本当の家族のように接して下さった。民泊ならではのあたたかく、素晴らしい体験をさせていただいた。

(B団・空&瀬)

宮古島から那覇へ

9月 旅行日記 取材

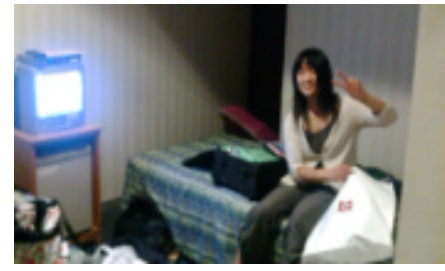
B団 3日目

## 南国モノレール ゆいレールに乗る

那覇空港から国際通りまでは「ゆいレール」を利用した。ゆいレールは開業6年の比較的新しいモノレールだ。始発駅である那覇空港駅は日本で最も西に位置する駅で那覇空港の次駅である赤嶺駅は日本最南端の駅だそう。車両は2両編成で運転席の後ろには景色が見やすいように設置された席が4席あり、前方や後方の展望を楽しめるようになっていた。空港から国際通りまでの所要時間は長くなかったが、私たちは快適なモノレールの旅を満喫した。(B団・轍)



## ああ、恋しい民泊...



ベッドでくつろぐ

南西観光ホテルは民家とは全く違う。カーテンを開けて下に見えるのは土産屋。人も傘をさして歩いている。部屋では沖縄を感じるの難しい。生徒は「ホテルはのびのびできるけど、民家に比べて学べることは少ない」と話す。ベッドで寝るよりも布団でみんながぐっつきあって雑魚寝したのが懐かしい。(B団・空)

南国国際通りから南西観光ホテルへ

## にぎやかな国際通り

国際通りは全長1.6kmの通りで那覇市にある。沿道には土産屋や飲食店などが立ち並び、とてもにぎやかだ。生徒はちんすこうやサーターアンダギーなど家族や友達への土産をかこいっぱいに買い、あまりに多いので宅配便を使う生徒もいた。夕食は班別でソーキそばやステーキ、ピビンバなどそれぞれ思い思いのものを食べた。(B団・空&瀬)



那覇空港から国際通りへ